

## 平成 28 年 静岡県 公立高校入試 社会

1. (1)a. 701年に定められた<sup>たいほうりつりょう</sup>大宝律令により、日本は律令（政治についてのしくみやきまり）に基づいて政治が行われる<sup>りつりょうこっか</sup>律令国家として、いろいろな制度を整えていきます。

律令制のもと<sup>はんでんしゅうじゆ</sup>班田収授の法により、6歳以上の人々は<sup>こせき</sup>戸籍に登録され、くぶん でん口分田を与えられ、その分様々な税を負担しました。

- b. <sup>そ</sup>祖がその地方に納める税で収穫の3%の稲。

<sup>ちよう</sup>調は各地の特産物です。

活字の中から特産物らしい一文字を選びましょう。

綿 でいいですね。

「肥後国益城郡」の部分は、今でいうと「～県～市」のようなものです。

「調」は都へ納める税であり、都まで運ぶのも税のうちで、地方の人々にとっては、たいへん重い負担でした。

成人男子には他よりも多く口分田が与えられましたが、その分、税の負担も大きく、九州北部の守りにつく エ <sup>さきもり</sup>防人の任など兵役の負担もありました。

防人については、国語でも「万葉集」の「防人の歌」のでてきましたよね。

- (2)中央の朝廷で力を持っていたのは貴族（公家）です。

平安時代に入り、地方の政治が乱れる中、地方の有力な農民や豪族は一族を武装させ、自分の領地のために戦います。

彼らは互いに連合し、また中央の貴族と結びつくなどして勢力をのぼし、武士団を形成します。

これが中央の貴族（公家）に対する、武士（武家）のはじまりです。

「公家」と「武家」は対にしてとらえましょう。  
平安時代までは「公家」が政治の実権を握っていましたが、鎌倉時代以降、政治の実権を握っていたのは「武家」です。

この武家（武士たち）が、どのように力をつけていったのかを問うているのがこの問題です。

武士団の中でも特に大きな勢力を持っていたのが、天皇と血のつながりをもつ（天皇の子孫をかしらとする）源氏と平氏でした。

地方で平将門や藤原純友が反乱をおこしても、朝廷の貴族たちにそれをおさえる力はなく、源氏や平氏によってこれらの乱はおさえられます。  
そして、源氏や平氏は名を上げ勢力を伸ばしていきます。

そして白河上皇による院政のころ、中央の貴族はますます武士団に頼るようになります。各地に私有地である荘園が増えたのもこの頃になります。

細かいところまでいいのですが、一応紹介しておきますと、まず「保元の乱」。これは院政をめぐる貴族どうしの争いなのですが、実際に戦いで活躍したのは源氏や平氏の武士団で、この戦いで武家の公家に対する優位が決定的になります。

そして、次の「平治の乱」。これも貴族どうしの権力争いがもとなのですが、武家の方でも源氏対平氏という構図になりました。

→  
次ページへ

これに勝利したのが平氏です。

その棟梁である とうりょう **平清盛** たいらきよもり は 武士として初めて太政大臣 だじょうだいじん になりました。

太政大臣は、朝廷の最高の役職です。

武家である平清盛が政治の実権を握ったことを意味します。

(「平清盛」=「武士として初めて太政大臣」のキーワードで覚えておくといいです。)

平氏は一族みな朝廷の高い位につき、栄華をほこりましたが、清盛亡き後、貴族や寺社、諸国の武士たちの反発をおさえられず、

みなものよりと **源頼朝** を中心とした源氏に滅ぼされます。

源頼朝は、朝廷から せいいたいしょうぐん **征夷大將軍** に任命され、全国の武士を従える地位に就きます。

イ → ウ → ア

むろまちぼくふ (3)a. **室町幕府** の將軍は 2 人おさえておきましょう。

3 代將軍が、あしかがよしみつ **足利義満**、ろくおんじきんかく 鹿苑寺金閣を建てたことで有名です。

南北朝を統一し、室町幕府の最盛期をつくり出しました。

にちみん **日明貿易** (かんごう **勘合貿易**) を積極的に行っていたことでも有名です。

8 代將軍が、よしまさ **足利義政**、じしょうじ 慈照寺銀閣を建てました。

義政のあとつぎ問題から、1467 年 おうにん **応仁の乱** が始まります。

この 1467 年以降を「戦国時代」と考えてよいので

“1467 年” は覚えておいた方がよい年号です。

室町幕府は 1573 年 おだのぶなが 織田信長 によって滅ぼされるまで残りますが、その勢力はほとんどなく、形だけ残っていた、と言っていいでしょう。

げ こくじょう

b. 戦国時代に入り **下剋上** の風潮が広まりました。

それまでの地位や身分にかかわりなく、実力のあるものが  
新たな実権を握っていきます。

(例) 下位の者が上位の者に実力で打ち勝ち、  
地位をうばうこと。

文字そのまま、「下のものが上のものに勝つこと」くらいでも大丈夫です。  
書きやすいように「下」を「下の身分」や「下位の者」などにできると  
いいでしょう。

(4) 覚えておくポイントというものがあります。

ここさえ覚えておけばいろいろな聞かれ方に対応できるというポイントです。  
そのポイントは IOP がおしえてくれます。



元禄文化 3人衆

うきよぞうし いはらさいかく  
浮世草子..... 井原西鶴

にんぎょうじょうるり ちかまつもんざえもん  
人形浄瑠璃..... 近松門左衛門

はいかい まつおばしょう  
俳諧..... 松尾芭蕉

元禄文化は上方（大阪・京都）で花開いた町人による文化です。 エ

運慶うんけいは鎌倉時代、狩野永徳かのうえいとくは江戸時代初期に活躍した人物です。

喜多川歌麿きたがわうたまるは江戸時代の人物です。

→  
次ページへ

「...多色刷りの版画で、美人画...」= <sup>うきよえ</sup>浮世絵のことだとわかりますよね。  
 浮世絵は主に江戸で発達したと考えてよいです。  
 元禄文化は上方（大阪・京都）中心の文化なので、アも外せます。  
 IOP のまとめ方が有効だということです。

喜多川歌麿は <sup>かせい</sup>化政文化の頃、活躍した人物です。  
 化政文化は江戸で花開いた文化で、時代も元禄文化より 100 年くらい後です。  
 大ざっぱに言ってですが、ちょうど 1700 年前後くらいに元禄文化、  
 1800 年前後くらいに化政文化と考えてよいです。

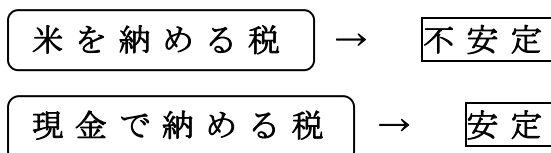
(5) 明治政府の収入は、はじめ江戸幕府の年貢を引き継いだ  
 農民が米で納める租税でしたが、米価の変動などで  
 収入は不安定でした。

そのため、政府の財源を安定させるため、税を現金で納めるように  
 させたのが <sup>ちそかいせい</sup>地租改正です。

これはこれで知っていなければならないことですが、この問題は  
 与えられたグラフを参考に、という指定なので改めて考えていきましょう。

答えの柱となる目的の部分はいいですよね。「政府の収入を安定させるため。」です。  
 これを、グラフ 1、グラフ 2 から読み取れることに関連づけて書きなさい、  
 という指定です。

グラフ 1 は米の収穫高です。けっこう上下していることがわかります。  
 一方グラフ 2 は地租の総額、安定していることがわかります。



という構図がみえます。

答えを書き始める前に、答えの形を決めておきましょう。  
理由説明の問題ではありませんが「のでから」を応用します。  
目的なので「から」の代わりに「ため」にします。



[Empty rounded rectangular box]

ので



[Empty rounded rectangular box]

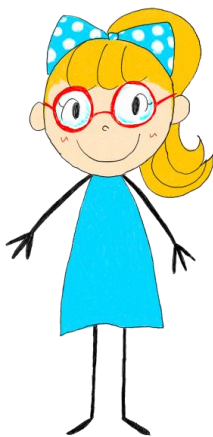


ため



地租改正を行った。

「ので ~~から~~ ため」の完成です。



各項目に入る内容を考えます。

「ので」の部分には、今までの問題点、すなわちそのままだったらどうなのかを入れてみましょう。

これで書けそうです。

「米によって納める税だと……」  
の書き出しにしましょう。

「ため」…「ので」に対してどうかと答えます。

「米で納める税」に対して

「現金で納める税」

表1を参考に、「ので」で「収穫高」という語句を使うでしょうから、こちらでは「地価」を使いましょう。

米で納める税だと、  
.....

ので(今までの問題点)



地価を基準に現金で  
納めさせることによって  
.....

ため



地租改正を行った。

「簡単に」という指定がありますが、あまり意識する必要はありません。文字数指定もないので、考えたことをすべて書くくらいのつもりで、その方が書きやすいはずです。

(例) 米で納める税だと年ごとに収穫量が変わり不安定なので、地価を基準に現金で税を納めさせることによって政府の収入を安定させるため。

(6)a. 年号を直接問われる問題は出てきませんが

第一次世界大戦 が 1914年～1918年  
 第二次世界大戦 が 1939年～1945年  
 との間の 1929年に せ かいきょうこう 世界恐慌

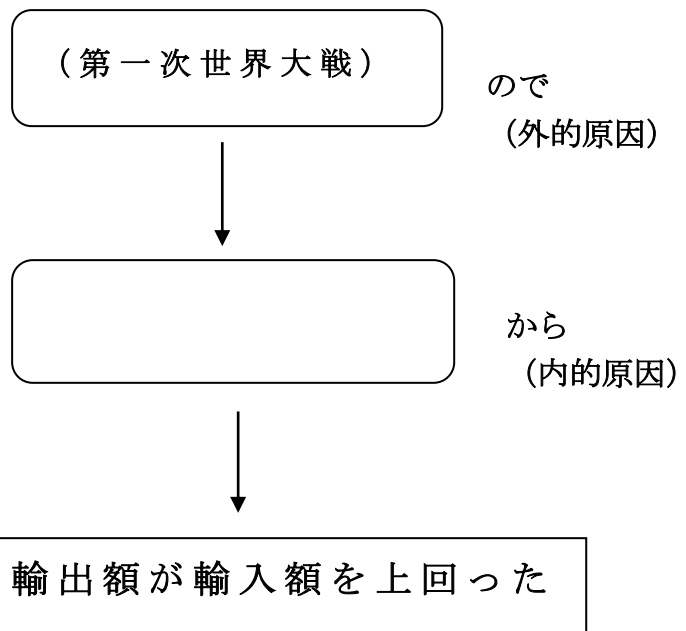
このくらいは最低限の最低限として覚えておきましょう。

理由説明問題なので、ここも正確に解答するため「のでから」を使いましょう。

「ので」の部分はいいですよ。「第一次世界大戦」にかかわることです。

問題の条件にも合致します。

みんなもテストのとき、自分でこの図をかいて考えるんだよ。



「ので」の部分から考えます。

「ヨーロッパは第一次世界大戦だったので」でもいいでしょうが、少し舌ったらずな印象を受けます。

むしろここは「第一次世界大戦」という用語を切りましょう。

「ヨーロッパでは戦争がつづいていた」「ヨーロッパは戦場になっていた」などとしましょう。

「第一次世界大戦」という用語を使わずに、1914年から1918年といえど第一次世界大戦のことだとわかっているということがアピールできます。こういうのができると本当にかっこいいですよ。

次は「から」、内的理由です。

「.....から、輸出額が輸入額を上回った。」と聞いて誰もが納得できる答えにしなければなりません。

ポイントは「主語」です。

内的要因ですが、日本を主語にするとけっこう考えづらいです。

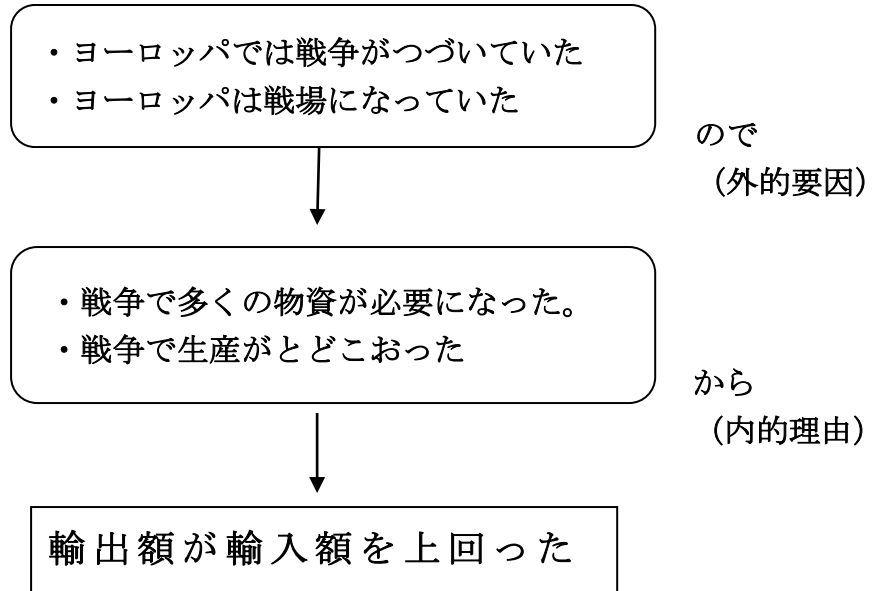
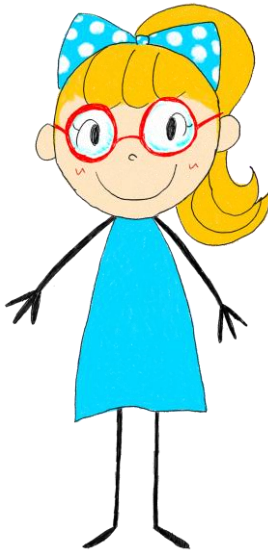
ヨーロッパを主語にして考えてみましょう。「ので」の部分もそうなので、その方が自然です。

・日本の輸出額が増える＝ヨーロッパからすると輸入額が増える  
↑  
戦争で多くの物資が必要となったから

・日本の輸入額が減る＝ヨーロッパからすると輸出額が減る  
↑  
戦争で生産ができなくなったから

どちらでも書きやすい方でいいです。これで「のでから」の完成です。





(例) ヨーロッパでは戦争がつづいていたので、多くの物資が必要になったから。

(例) ヨーロッパは戦場になっていたので生産がとどこおっていたから。

どちらでもいいと言いましたが、せっかく考えたので両方書いてもよいです。そういう答えが本当は一番よいです。

(例) 第一次世界大戦でヨーロッパは戦場となり戦争がつづいていたので、生産がとどこおり、また多くの物資を必要としていたから。

やはりポイントは「物資」や「生産」という言葉を使いこなせるかです。こういうところが基礎力と言えるところでしょう。なかなか大変だとは思いますが、ふだんから意識してこういう言葉も使いこなせるようになりましょう。

b. けっして年号を覚えていてそれで答えという問題ではありません。そんな問題は存在しません。

問題は「第一次世界大戦」の時期の国内の様子です。  
これについても IOP が見事にまとめています。



第一次世界大戦中のできごと  
日本が中国に **二十一か条の要求**、  
世界をみればロシアで **ロシア革命**

日本のできごととして「二十一か条の要求」、世界のできごととして「ロシア革命」  
第一次世界大戦中のできごととしては、この2つを覚えていけば充分ということです。

さて選択肢をみてみましょう。

「二十一か条の要求もロシア革命もないじゃないか。」なんて言わないで下さいね。  
確かに上の2つさえ覚えていけば充分といいましたが、それぞれのできごとの  
背景や影響までおさえておけば充分ということです。

ただし、この問題では「シベリア」＝「ロシアの地名」とわかっていれば  
 を選ぶことはできます。

(※シベリアはロシア国土の中でウラル山脈より東側（日本に近い方）の  
とても寒い地域です。)

解説を加えます。

ロシア革命で世界で初めて **社会主義** の政府が生まれました。  
**資本主義** をとっている欧米列強諸国や日本にとって、  
社会主義の政府の誕生は脅威でした。

そこで日本の悪い米商人たちは考えました。

「日本もロシア革命をつぶすために軍隊を派遣するだろう。  
そうしたら大量の米が必要になる。」

このように考えて、後で高く売れるように米を買い占めます。  
これによって、米価が急に高くなり、人々の生活は大きな打撃を受けます。

1918年、富山の漁村で女性たちが抗議運動を起こします。  
当時はすでにほとんどの家庭に新聞が普及していました。  
富山の女性たちの運動が新聞で報道されると、この動きは  
全国的に広まります。

各地で民衆が米屋などを襲います。これが <sup>こめそうどう</sup>米騒動 です。

米騒動の責任をとって、そのときの内閣総理大臣は辞職します。  
ついで内閣総理大臣になったのが <sup>はら たかし</sup>原 敬 です。

原は平民出身の初めての首相でした。

その内閣の閣僚も、原が総裁を務める衆議院第一党の  
立憲政友会の党員が占める本格的な **政党内閣** でした。

今でしたら衆議院で一番 議席を持っている政党から首相がでて  
内閣の各国務大臣もほとんどその政党员で占めるのは当たり前ですが、  
それまではそうではありませんでした。

明治維新で江戸幕府を倒すのに活躍した薩摩藩や  
長州藩などの出身者が <sup>はんぱつ</sup>“藩閥”を形成し、大きな力を握っていました。  
それまでの総理大臣もほとんどすべて藩閥から選ばれていました。  
それが変わったので、これは大きなできごとです。

というわけで、米騒動は次の 2 点で非常に重要です。

① 世界の動き（ロシア革命）が日本の政治（内閣の組織）に影響を与えたということ。

これは国際化、日本が日本だけで存在しているのではなく世界の国々の一つとして存在する時代になったことを意味します。

② 富山の漁村（そうとういなかです）の主婦たちの活動が全国的に広まり、やがては内閣を変えるまでに至ったこと。

これは新聞の普及、すなわちジャーナリズムが成立していたことを意味します。

それまでの時代では、まったく考えられないことです。

富山の片田舎で起きたできごとを、全国の人が知り得る機会はそれまでありませんでした。

米騒動に関しては、今後こちらの視点からの出題が多くなることが予想されます。

他の選択肢も軽く確認しておきましょう。

ア．は江戸末期、不平等条約で明治政府もその撤廃に苦勞しました。

イ．は明治後半の日清戦争・日露戦争の項、

日本でも産業革命がすすみました。

エ．は第二次世界大戦の前、日中戦争が始まった後に制定されました。

よくみるとア→イ→ウ→エの順に時代順になっています。

こういうのを利用して歴史の流れをおさらいするといいですよ。

(7)a. ポツダム宣言を受諾し、日本の敗戦で第二次世界大戦は終わります。

先ほども言いましたが、第二次世界大戦は **1939年から1945年**。

これくらいの年号は必ず覚えておきましょう。

この問題でも、1947年という数字をみてすぐ「戦後」の話だと意識できます。そういうことが社会では大切です。

敗戦国日本では、GHQ（<sup>そうしれいぶ</sup>連合軍総司令部）の指導により、様々な改革がなされます。そのもっとも象徴的なものが憲法改正でしょう。

それまでの大日本帝国憲法で主権者は天皇でした。

民主化を進める中、日本国憲法で主権者は国民にかわります。

(例) 天皇から国民にかわった。

b. 1940年と1950年なので戦前と戦後ですね。

これは小作人を解放しようという農地改革という政策です。

同時期に、日本の軍国主義を支えてきたとして財閥も解体されました。

<sup>ざいばつかいたい</sup>  
(財閥解体)

c. ⑤は明治維新の頃、⑦以降というのは戦後のことです。

江戸時代以来、<sup>りゅうきゅう</sup>琉球王国は薩摩藩と中国の清の両方の支配下にありました。

明治政府は琉球に ㊦ 琉球 藩を置き、後に日本の領土とし、沖縄県を設置しました (琉球処分)。

太平洋戦争 (1941~1945年) の末期、1945年3月アメリカ軍が沖縄に上陸し、多くの住民も激しい戦闘に巻き込まれました (沖縄戦)。

その後、ポツダム宣言を受諾し、日本は無条件降伏をし、日本は主権を失います。

1951年、**サンフランシスコ平和条約**が結ばれ、日本は主権を回復しました。しかし、沖縄は引き続きアメリカの統治下に置かれ、軍事基地などに利用されました。

㉞ 沖縄 が日本にもどったのは、ごく最近の 1971 年のことです。

みなさんまだお若いから、そう感じないかもしれませんが最近なのです。考えてみて下さい。たった 50 年前まで沖縄は日本ではなくアメリカだったのです。例えば、コマーシャルなどによくでてくる川平慈英という人がいますが（わからなかったらお父さん・お母さんにどの人か聞いて下さい。）、彼は沖縄出身です。彼が生まれたとき沖縄はアメリカでした。昔ニュース番組で言っていたのですが、小さい頃は日本の方が外国のように感じていたそうです。

2. (1)a. 基本的なことですが、南から流れてくるのが暖流で北から流れてくるのが寒流です。

海流とは海の中を流れる「川」のようなものと考えるといいでしょう。

日本の太平洋沖を流れる暖流は くろしお 黒潮 [日本海流] です。

北から流れてくる寒流の おやしお 親潮 [千島海流] とぶつかる場所は しおざかい 潮境 とよばれ好漁場です。

b. 国の領域は、**領土、領海、領空** からなります。

領土の海岸線から 12 海里までを a 領海といい、領土と領海の上空が領空です。

また、各国の海岸線から **200 海里** 以内を はい た てきけいぎすいいき **排他的経済水域** といい、水産資源や鉱産資源を自国のものにできます。

そして、その外側を © 公海といい、どこの国の海でもないとします。

グラフ 5 をみてみましょう。

圧倒的に領土の面積が大きい **ア** と **イ** が、アメリカとブラジルのどちらかです。

この **ア** と **イ** は絶対にちがうと、外せられれば充分なのですが、一応 **ア** がアメリカ合衆国で、**イ** がブラジルです。

アメリカが大西洋と太平洋の両方に面しているのに対し、ブラジルは大西洋側にしか面していません。

その差が経済水域の面積の差に出ていることを読みとれるといいですね。

残りの **ウ** と **エ** のどちらかが日本でどちらかがインドネシアになります。

インドネシアの面積までは、ふだん気にしたことはないでしょうがいくらでもアプローチはあります。

まず日本は島国なので、領土面積に比べ排他的経済面積の割合が極端に大きいです。そのことから **エ** と判断してよいです。

インドネシアも島国ですが日本ほどではありませんでした。

逆にニュージーランドなんかは、日本より国土面積が小さいのに排他的経済水域の面積は日本より大きいぐらいです。

教科書などにも のっていますのでみておきましょう。

それから、日本の国土面積は約 **38 万 km<sup>2</sup>** でした。

これは覚えていた方がよい数字なのでこれから **エ** としてもよいです。

この問題で国土面積約 **38 万 km<sup>2</sup>** という知識を使いこなせたら

かっこいいですね。

あと、ばくぜんとインドネシアの方が日本より大きそうだから エ。  
 こんな感じで答えを出しても充分です。

(2) a. 東京都の上が埼玉県、  
 その上が左から 群馬 県、栃木県です。

b. ①比の式をつくりましょう。

表に与えられている

$$(夜間人口) : (昼間人口) = \underline{100} : \underline{x}$$

↑ 昼間人口を  
100としたとき
↑ 夜間人口は  
どれだけか

これにあてはめると

$$7195 : 6376 = 100 : x$$

上から2桁のがい数でいいでしょう。微妙な数字が出たら  
 計算し直せばよいです。

$$7195 \rightarrow 7200, \quad 6376 \rightarrow 6400 \quad \text{として}$$

$$\cancel{7200} : \cancel{6400} = 100 : x$$

$$\overset{9}{\cancel{7}2} : \overset{8}{\cancel{6}4} = 100 : x$$

$$9x = 800$$

$$x = 88.88 \dots$$

なんと、「0」が2つ消せるどころか、  
 8で約分できます

多少ずれはあるかもしれませんが、

90人未満として問題ないでしょう。 エ

②東京都をみてみましょう。

夜間人口100人に対する昼間人口が100人以上です。

これが何を意味するかはいいですよ。

→  
次ページへ



東京では (昼間人口) > (夜間人口)

また、他の県では (昼間人口) < (夜間人口)

だということです。

ですから、(違い) は本当に簡単に、東京が他県と比べてどうかですから

(例) 東京は夜間人口より昼間人口が多い。

昼間人口と夜間人口の意味も確認しておきましょう。

読んで字のごとしなのですが、昼間人口というのは昼間そこにいること、すなわち職場や学校がそこにあって、昼間はそこにいるということです。東京都は企業の数や大学・高校の数が多いので昼間人口が夜間人口より多くなります。

夜間人口とは、どこに家があるかということです。

東京は地価が高いため、東京に比べれば地価の安いまわりの県に家があり、そこから職場や学校に通う方が多いということでしょう。会社に通うことを「通勤」、学校に通うことを「通学」。

こういう基本的な語句は積極的に使いましょう。

また図 2 をみると東京と接していない群馬県、栃木県、茨城県も含まれていますが、すべてまとめて「近隣の県」で OK です。

(例) 近隣の県から通勤・通学をしてくる人が多いから。

東京への通勤圏は、現代では都心から半径約 70km の範囲にまで及び、**東京大都市圏**を形成しています。

(3)a. 図 4. 1997 年の地図の左上部に工業団地があります。

図 3. 1968 年の地図から、この工業団地がつくられた場所にはなにがあったかを問う問題です。

地図記号 √ (畑) がわかればすぐわかります。 ウ です。

|| (田) が右側に残っているので区別できます。

ア. の寺院は ㊦。

イ. 標高が最も高いところは地図右側、等高線がつまっているところでは

エ. 工業団地がつくられた場所は、西浦町の集落からみて「北西」です。

もっともこの選択肢は図 4 からだけ判断し、図 3 は使いませんから正解になることはありません。

b. 語句を確認しておきましょう。

- ・ **第一次産業**... 人間が直接自然にはたらきかけて行う生産活動。  
**農林水産業** など
- ・ **第二次産業**... 原材料を加工して製品をつくり出す産業  
**工業** など
- ・ **第三次産業**... 第一次産業・第二次産業に入らない産業  
**商業やサービス業** など現代社会では多岐にわたります。

日本でも第二次世界大戦前は、第一次産業で働く人が半数近くを占めました。

戦後、経済成長とともに第二次産業で働く人の割合が増え、現在では働く人の 7 割が第三次産業に就いています。

選択肢を先にみておきましょう。

「農業」「製造業」「小売業」が、それぞれどの産業にあたるかを確認しておきましょう。

これは問題ないですね。

「農業」→第一次産業      「製造業」→第二次産業

「小売業」→第三次産業      です。

それでは [ ] 内の文を読んでいきましょう。

1960年から2010年にかけて、大幅に割合が減っているのは、

㉠ 第 [ ] 次産業です。

次は順番注意です。

第二次産業も第三次産業も割合が増えているので、

㉡ を先に判断することはできません。

したがって ㉢ が先に何かを決める必要があります。

佐野市の方が全国よりも割合が高いということからも判断できますが、綿織物工業など、はっきり「工業」と書かれていますね。

したがって、㉡ が第 [ ] 次産業、㉢ が第 [ ] 次産業になります。

記号は、第一次・第三次・第二次の順に並んでいる [ ] です。

さらに、グラフ8から工業生産額が大幅に増加していることがわかります。

[ ] にあてはまる内容なので、工場の進出が増えた理由です。

企業は、そこに工業を建てるのが有利な場所に工場を建てます。  
どのように有利かは、ヒントというかはっきり指定されています。

「交通と輸送に着目して」

そうです。交通や輸送の便がよくなったので、工場が進出してきました。

「交通と輸送に着目して」とあるので、図 3 と図 4 の地図に着目です。

図 3、1968 年の地図にはないけど、1997 年の地図にはあるもの、  
そう、わかりますよね。大きな道路ができています。  
右側の縦につらぬいている道路は「東北自動車道」と読みとれます。

工場の立地条件として大切なことは、  
原材料を運び込みやすく、製品を運び出しやすいことです。

(例) 自動車道が整備され、輸送の便がよくなった。

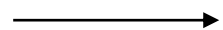
「高速道路」としてもよかったですのですが、高速道路をはじめバイパスや  
一般道などを含め交通網として機能するので「自動車道」としました。

原材料や製品を運びやすいという理由で、高度経済成長の中、  
臨海部（海に面した地域）で、主に工業が発達してきました。

（船での輸送は浮力の分、エネルギー効率がすぐれています。）  
この地域では、**京浜工業地帯**<sup>けいひん</sup>や**京葉工業地帯**<sup>けいよう</sup>などがそうです。

一方、この佐野市のように北関東地域には、地価が安く  
広い場所を確保しやすい場所がたくさんありました。

この問題でいうと、図 3、1968 年の段階では広い土地が  
安く確保できるというだけで、原材料や製品の



輸送ができず、工場を進出するメリットはありませんでした。

1970年代以降の全日本的な自動車道の整備により、自動車道のインターチェンジ近くには**工業団地**がつくられ、京浜や京葉から移転してくる工場も見られました。そして、これらの地域は**北関東工業地域**と呼ばれています。

そうです。これは北関東工業地域に関する問題でした。北関東工業地域は教科書にもものっていますし、みなさんも一生涯命覚えたはずです。

覚えなくてもこの問題は解けますが、テストのときに北関東工業地域の話だと気付いたら、心に大分余裕が出来るでしょうね。

**3**(1)これも「新学力観」と言われる問題の1つです。

地球を真上（北）からみて、経線や都市の場所などを考えるのは、ほとんどの人にとっておそらくこれが初めてのことでしょう。

東京の位置と問われていますが、大ざっぱに日本の位置と考えてよいです。

地球を真上からとらえた図であることと、本初子午線（東経・西経0度の線、イギリスのロンドンを通っています）が下になっていることに注意して下さい。おそらく、テスト用紙を上下反対にひっくり返した方が考えやすいでしょう。

日本の標準時が**東経135度**を基準に設定されているのは覚えていますよね。仮に覚えていなくても、基準である0度の経線が通るイギリスよりずっと東。少なくとも東経90度より東だとはわかるはずですよ。

イ になります。

(2) グラフ 9 をみると、一年を通して気温が大体同じであることが分かります。

こういうのを「季節がない」といいます。

雨温図の気温の変化からだけで判断できます。

一年を通してあたたかく季節の変化がない。

赤道付近の気候の特徴です。 ㉞

また、日本がもっとも特徴的なのですが、「**季節がある**」のが **温帯** と考えてよいです。

㉞ の都市は、一年を通してあたたかく季節の変化がないので

ア 熱帯に含まれます。

図 6 の写真はどうやら田植えをしているようです。

日本など温帯でも稲作は行われますが、熱帯でももちろん行われます。

**季節風（モンスーン）** に影響を受けている地域は、夏の降水量に恵まれているので稲作が盛んです。

「モンスーン地域＝稲作」というキーワードでおさえおきましょう。

さらに熱帯地域ではあたたかいので 1 年に 2 回米を育て収穫することができます、これを **二期作** といいます。

図 6 の写真もおそらくそれ（1 年で 2 回目の田植え？もちろん、この写真からだけでは判断できません）を表しているのでしょう。

なお、㉞ も赤道の近くにありますが、これは違います。

赤道付近にあります。南半球にあるので季節が反対です。  
グラフ9でも、夏(5~7月)にかけて他の月より気温が高いことがわかります。  
季節の変化は少ないですが、まったくないわけではないので、  
このように気温図に表れます。  
南半球の都市なら、5~7月の気温が他より低いはずですが。

実際には㉔はアンデス山脈地方にある高山都市でしょう。  
標高の高いところに建てられているので、赤道直下でも  
すずしく過ごしやすくなっています。(㉔は赤道直下になっているので、  
おそらくエクアドルの首都を示しています。)

また、もし問題の答が㉓だとしたら、南半球で季節が反対と  
いうことから充分判断できるでしょうが、オーストラリア内陸部は  
乾燥帯で広大な砂漠が広がっています。  
雨温図でも降水量が少ないという特徴を持ちます。  
このことも心に留めておきましょう。

(3)世界の「6州」を先に確認しておきましょう。

「六大陸」をもとに考えれば大丈夫です。

まず一番大きいユーラシア大陸は「アジア州」と「ヨーロッパ州」に分かれます。  
あとは「アフリカ州」に「北アメリカ州」と「南アメリカ州」  
そしてオーストラリアを中心に「オセアニア州」これで6つです。

㉔ ~ ㉓ のそれぞれがどの州にあたるかを考えます。

「1人当たりの総所得」はその地域にある国々がどれほど豊かかを  
示す目安になります。先進国が多いほど高いです。  
ヨーロッパ州はやはり高めの数値になっています。

まず、もっとも人口が多い ㉔ がアジア州です。

アフリカ州も **人口爆発** などの問題がとり上げられていますが、多いのは人口増加率で、人口がもっとも多いのはアジア州です。アジア州には世界の人口の 6 割程が集中し、人口密度も高いです。

アジア州に次ぐ人口を持っている ㉕ が **アフリカ州** です。アフリカ州には貧しい国が多いので、1人当たりの総所得が低いことから判断できます。

㉖ ㉗ は 1人当たりの総所得が大きいです。

アメリカ合衆国のある「北アメリカ州」

オーストラリア、ニュージーランドなどが中心の「オセアニア州」がこれらにあたるでしょう。

人口が極端に少ない ㉘ がオセアニア州、

㉖ が **北アメリカ州** になります。

残った ㉗ が南アメリカ州です。

(4)a. **A** はドイツです。

早くから工業化が進んだヨーロッパでは大気汚染や水質汚染が問題になっていましたが、さらに **イ** **酸性雨** の被害も深刻です。

酸性雨は偏西風に乗って広い範囲に被害をもたらしています。



b. けっして年号を覚えていなければダメなんだと思わないで下さい。  
歴史の流れから判断する問題です。

とは言え、最低限、覚えなければいけない年号はあります。  
近現代で言うと先ほども言いました。



第一次世界大戦は1914年から1918年

その間の1929年に世界恐慌

第二次世界大戦は1939年から1945年

「社会」が得意なのは「覚えるのが上手な人」ではありません。  
「おさえるべきポイントを見極め、それに肉付けするのが上手な人」です。

でもなかなかおさえるべきポイントを見極められるようになるまでが大変です。  
IOPを信じてIOPを頼りましょう。

(IOPが覚えろと言ったことは、命がけで覚えようということです。)

この問題も、上のIOPだけで答を出してみましよう。

第一次世界大戦でドイツは敗戦国になります。

巨額の賠償金が課せられ、国内では異常なインフレ(物価高騰)に苦しめられます。

そんな中、当時としてはめずらしいほど民主的な憲法が生まれました。  
それが1919年ワイマール憲法です。

ワイマール憲法は、初めて社会権がはっきり規定されたことも重要事項です。

その後ドイツは経済もなんとか立て直し、また世界全体をみても第一次世界大戦の反省から平和に向かっていくかにみえました。

そんな中、1929年世界恐慌、

全世界がかつてないほどの大不況にみまわれました。

アメリカは広大な領土を持っているので、**ニューディール政策**などにより恐怖をのりきりました。

イギリス・フランスなどは海外にたくさんの植民地を持っていたので、それらとの間に**ブロック経済**をとり恐怖をのりきりました。

ソ連は社会主義の体制をとっていたので世界恐慌の影響を受けませんでした。

ドイツ・日本・イタリアなどには広大な領土もたくさんの植民地もありません。

恐怖をのりこえることができず、国内の政治・経済は混乱していきます。国民のその当時の政府への不満も高まります。

そんな中、日本では軍部が政府への発言力を強め軍国主義が広がっていきます。

ドイツでは**ヒトラー**率いる**ナチ党（ナチス）**が政権をにぎります。

そして、第二次世界大戦に向かっていきます。

なお、イはそもそもドイツという国があってアやウがあるので一番初めだとわかります。

イ → ア → ウ

イについても補足しておきます。

第二次世界大戦で、敗ける側になった**三国同盟**の  
日本・ドイツ・イタリアの三国は、ほとんど同じ時期に  
近代国家としてスタートしました。

日本では 1868 年から**明治維新**。  
アメリカやヨーロッパのイギリスやフランスなど列強に負けない  
国づくりを目指します。

一方、ヨーロッパの中でドイツとイタリアは、長い間統一国家がなく、  
分裂状態にありました。

ドイツでは 1871 年にドイツ帝国が成立、国内を統一します。  
イタリアも 1861 年にイタリア王国が成立、1870 年に国内を統一します。

まったく同じ時期にスタートしたと言っていいですよ。  
歴史のめぐりあわせというか、必然性のようなものが  
ここにあるように感じます。

江戸幕府末期、討幕運動の中心人物で長州藩の  
<sup>き ど たかよし</sup>  
**木戸孝允** という人物がいます。

明治政府がスタートするとき発布した <sup>ご かじょう</sup> <sup>ごせいもん</sup>  
**五箇条の御誓文** を  
中心になって起草した人物です

木戸は <sup>いわくら し せつだん</sup>  
**岩倉使節団** にも中心人物の一人として参加しています。  
使節団は欧米 12 か国を 2 年近くの歳月をかけて回りましたが、  
プロイセン（ドイツ）を訪れた際、木戸と今回の問題にでてきた  
ビスマルクが互いに親交を深めたいというエピソードが残っています。

→  
次ページへ

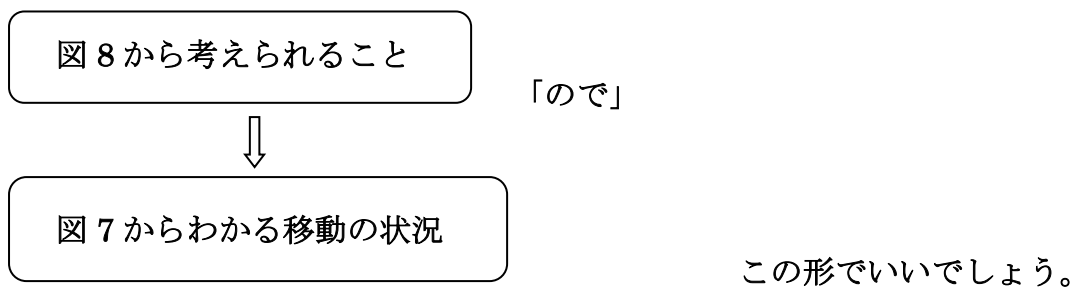
まわりの国に負けない国にするため、国のために身をけずり鉄腕をふるっている二人です。相通じるところも多かったのでしょう。

c. 矢印の先端（向かっている先）はイギリス・フランス・ドイツなど1人当たりの国民総所得が高い国。

矢印の根元（どこから移住してくるか）は、1人当たりの国民所得が低い国であることがわかります。

解答の形を先に確認しておきましょう。

問題の指定によると、



「図7からわかる移動の状況」から考えましょう。

大ざっぱに言ってですが「南から北に移動している。」

これでもいいような気もしますが、「南から北」ではない例「東から西」もけっこうあるので書きづらいです。

ここは具体的に、

(例) 1人当たりの国民総所得の低い国から高い国へ、移動している。

この答で図8から考えられることも入っているので、これでいいでしょうね。

「ので」の部分は何か入れとおくとすると、

(例) 1人当たりの国民所得に差があるので、  
1人当たりの国民所得の低い国から高い国へ、  
移動している。

4.(1)a. そもそも団結権とは **労働組合** をつくる権利のことです。

これも、戦後占領下での GHQ による民主化政策の一つでこの労働三権も、このときつくられた **労働組合法** の中で規定されています。

また同じ時期に最低賃金など労働条件の最低基準を定めた **労働基準法** も制定されました。

労働基準法、労働組合法、そして労働者と使用者の対立を調整する目的で制定された **労働関係調整法**。

これら 3 つは **労働三法** と総称されています。

b. 子育てや介護のため仕事をやめざるをえない女性が  
多いことから、2009 年 **育児・<sup>かいご</sup>介護休業法** の改正により  
育児休暇や介護休暇が制度として整えられ、とりやすくなりました。

しかし、この制度を利用して休暇をとるのはほとんど女性で、  
残念ながら育児・介護などの負担はほとんどが女性が  
負っているという現状はあまり変わりません。

エ

(2)a. **国会**は全国民による選挙によって選ばれた国会議員で構成されます。

したがって、国会で審議され決定されたことは、主権者である国民の意志とみなされます。

憲法でも、国会は国権の ㊦ **最高** 機関であり、

国の唯一の ㊧ **立法** 機関であることが定められています。

b. 日本の国会は**衆議院**と**参議院**からなる**二院制**をとっています。これは審議や決定をより慎重に行うため、日本だけでなく多くの国で二院制が採用されています。

ただ院が2つあるというだけでなく、各国ともそれぞれの院に特色を持たせています。

日本の場合をみてみましょう。

衆議院には**解散**があります。

任期の途中でも解散し、選挙をして衆議院議員を選び直すことがあるということです。実際によくあります。これは、主権者である国民の意志をより強く反映させるためのしくみです。

任期そのものも、参議院より短く4年です。

一方、参議院は政局の急激な変化を防ぐことを目的として任期も6年と長く、解散もありません。

選挙も一度に全議員を選び直すのではなく、3年ごとに半数を選び直すしくみをとっています。

原則として 2 つの議院の権限は同じです。

国会の議決とは両院（衆議院と参議院をあわせて両院と言います）の議決の一致が必要です。

しかし議決が一致しないこともあります。

そして、それが原因で国の政治が停滞してしまうと困ります。

そこで、憲法はいくつかの決定について衆議院により強い権限を与えています。これを**衆議院の優越**とといいます。

「衆議院は参議院よりも任期が短く、解散もあるので、より強く国民の意志を反映させられていると考えられるから」衆議院の優越が認められています。

さて問題にもどりましょう。

国会の一番大切な仕事は**法律を制定**すること（**立法**）ですので、衆議院の優越を考える際にも、法律案の議決に関することはとても重要です。

法律案はそれぞれの議院で審議され、出席議員の過半数の賛成で議決されます。

衆議院と参議院でそれぞれ議決されれば、その法律案は法律になります。

図 9 では法律案提出後、衆議院では賛成多数、参議院では反対多数となっています。

憲法ではこの場合、衆議院で再審議し、出席議員の 3 分の 2 以上の賛成で再可決したときは法律になると定められています。

図 9 の最後の衆議院のところを見てみましょう。

賛成 340 票、反対 133 票。細かい計算は必要ありません。

賛成票が反対票の 2 倍以上あります。

この法案は、

(例) 衆議院で出席議員の 3 分の 2 以上の賛成で  
再可決したので、成立した。

正直、「参議院って意味ないじゃん。」と思った方も多いと思います。

実際そのような批判の声も多数ありますし、またそもそも参議院と衆議院の違いがあまりないという批判もあります。

そもそも完璧な政治のしくみなんてなく、国民（人類）が永遠に考え続け、その時節に応じて改良を重ねていくものなのでしょう。

(3)各学区のトップ高を受験される方は、必ず少なくとも 5 分できれば 10 分位、この最後の問題をじっくり考える時間を確保できるようにして下さい。

ここで条件にのっとり論理的に文章を組み立てられるかどうかで大きな差がでます。

ふつうの高校を受ける方も必ず何か書くように。

ここが無解答だと採点者側に高校に入りたいという熱意が伝わりません。こういうことはものすごく大切なことです。考えたことをすべて書くくらいの気持ちでいいです

書いてみればわかりますが、70 字ってものすごく短いです。



“what (何を)” “how (どのように)” 書けばよいかを先に確認しておきましょう。

“what” → 図 10 からわかる、行政機関の取り組みとその目的

“how” → グラフ 10 とグラフ 11 から読み取れることに関連づけて

“what” ...取り組みとその目的とありますが、

「(目的) → (取り組み)」の順の方が書きやすいでしょう。

すなわち答の形としては

(目的) するために  
(取り組み) している

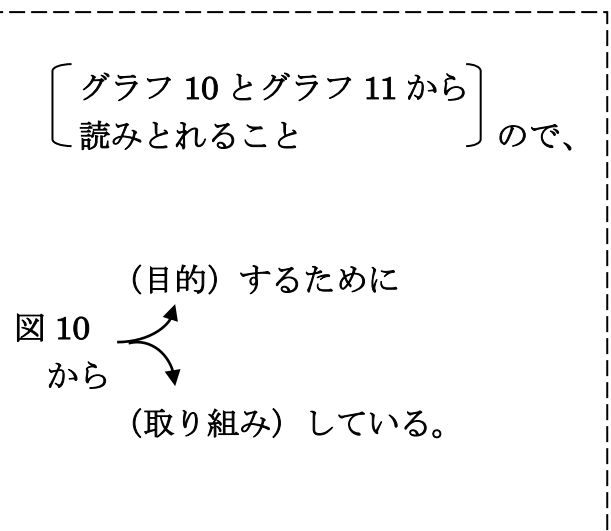
これが解答のむすびになります。

この前に “how”, グラフ 10 とグラフ 11 から読み取れることを、行政機関がこのような取り組みをしている「原因 (ので)」として入れましょう。

これで解答の形がみえました。

最初にこのようなことを  
考えておくといいです。  
ぜひ習慣にしてください。

グラフ 10 とグラフ 11 から  
見ていきましょう  
これはいいですよね。



グラフ 10 が「オンライン・ショッピングの市場の大きさ」、  
グラフ 11 が「消費生活センターへの相談件数」  
同じように増えています。

これらの語句は長いですが使わなければなりません。

70字程度という文字指定ではかなり大きいです。

(それにしてもこのグラフ、2年刻みなんですよね。

今までの社会のテストでは、あまりみななかったことです。


社会の変化のスピードがおそろしく速くなってきたということです。)

次に図 10 の解釈です。

問われているのは「行政機関と取り組み」です。

「行政機関」に着目しなければなりません。

脚注にしっかり書かれています。

行政機関は  で示されています。

「消費者庁」と「消費生活センター」です。

「消費者庁」は中央にある省庁ですし、

「消費生活センター」は全国各地で実際に消費者の相談にのっている機関です。

文字数の制限があるので、いっしょにして考えなければなりません。

すなわち行政機関の行っている「取り組み」はここで矢印(→)で示されている「情報公開、指導、助言」です。

本当にこれだけでいいです。

というよりむしろ、文字数制限でこれ以上書けないでしょう。

本当は全国各地にある消費生活センターから消費者庁が

様々な情報を集めそれを情報公開していることなど、

おもしろいので書きたいところですが、やめておきましょう。

(前半部分をうまく短くまとめられれば入れてもいいです。

後で挑戦してみます。)

後は取り組みの「目的」ですが、ここは図にはないので自分が補います。  
消費者庁や消費者生活センターの本来の目的でもある「消費者を守るため」  
このフレーズは出てきやすいのではないのでしょうか。

(例) オンライン・ショッピングの市場の拡大に伴い  
それに関する相談件数も増えているので、  
消費者を守るため、  
情報公開・指導・相談などを行っている。(68字)

もう1つつくってみます

「オンライン・ショッピング」の代わりに「新しい」としてみます。

(例) 新しい市場の拡大に伴いそれに関する相談も増えている。  
消費者保護のため、各地で相談を受けながら情報を集め、  
消費者に情報公開するとともに  
事業者には指導を行っている。(80字)

「新しい」という言葉を使うことで、トラブルが多いのも当然だし  
保護もより必要というニュアンスは出せましたが、70字程度という  
指定で80字では本当にギリギリです(解答用紙も80字でした)。  
無理することはないようです。

以上です。

ご意見・ご感想お待ちしております。

富士宮教材開発